

公表：令和2年3月

事業所名 かぶと虫Mark 児童発達支援・放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	4	0	0	国の設置基準より、指導訓練室は児童発達支援事業においては、児童一人当たり3㎡以上、放課後等デイサービス事業においては、児童一人当たり4㎡となっている。当事業所の指導訓練室は、54.43㎡のため、定員10名でも基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	3	0	0	国の人員配置基準(営業時間中に常に児童指導員2名)は満たした上で、理学療法士等(保育士)も加配している。直接支援スタッフは、常時4~6名配置している。月に一回程度、言語療法士による観察、職員へのアドバイスなどを行なっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	5	0	0	車いすの利用者を想定して、設計している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	4	0	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	5	0	2	自己評価を今年度初めて実施。今後活用し、業務改善に努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	3	2	5	自己評価を今年度初めて実施。今後活用し、業務改善に努めていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	0	5	第三者機関を設置していない。今後必要に応じて設置を検討していく。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	0	1	2ヶ月に一回程度社内研修を実施している。外部の研修にも必要に応じて参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	2	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	1	1	決まったアセスメントツールはない。利用者一人一人の個別の支援記録を作成中。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	2	1	日々の療育の内容について、事前に打ち合わせをして決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	2	0	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	6	0	0	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	5	2	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	0	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	1	1	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	4	0	0	利用者一人一人の個別の支援記録を作成中。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3	1	2	個別支援計画の計画に沿って、6ヶ月に一回以上のモニタリング、計画の見直しを行なっている。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	2	0	4		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3	0	2	ケース会議等に児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2	0	2	
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	0	5	医療的ケアが必要な利用者の方の受け入れがこれまでにないため、非該当。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	5	一年目のため、今後取り組んでいく必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	1	6	当事業所を退所後、他の障害福祉サービス事業所等への意向をしたケースがないため、非該当。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	0	4	今後必要に応じて検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	4	0	児童館の利用はしている。その他の交流の機会を今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	1	4	近隣の事業所と定期的に情報共有する機会(連絡会)があり、参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2	0	1	日々の連絡帳により、利用者の様子ついて、お伝えするとともに、必要に応じて電話連絡を行うなど、情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	3	2	保護者向けの学習会や情報交換の場を検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	2	契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	4	0	1	相談があれば、丁寧に対応するよう心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	0	1	不定期でおしゃべり会を開催している。今後、更なる充実を図れるよう内容含め検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	1	これまでに大きな苦情はないが、体制の整備は整えており、契約時に説明をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3	1	1	月に一回の会報を発行している。また、毎月配布する翌月の利用希望表に行事予定などを載せるようにした。
	35	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	3	3	事業所の行事に地域の方を招待するなどはしたことがない。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	0	3
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	1	1	年2回の避難訓練を実施。今年度については、9月に実施しており、3月にも実施予定。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	1	1	実施しているが、年度途中に入社した一部のスタッフは研修を受けていない。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	2	4	契約時にやむを得ず身体拘束する場合がある旨については、保護者に口頭で説明をしているが、これまでにそういった事態に迫られたことはない。承諾書についての書類は用意されている。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3	0	1	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	0		

#### 総評

入社時に社内で作成したマニュアルなどを読む機会はあるが、ガイドラインや設置基準等についての読み込みはできていなかったため、設問の内容を理解できていないまま回答しているものもあった。また、開所一年目でまだ実施できていないものや事業内容として、設問によっては該当しないものもあったため、来年度以降は設問内容の精査をしてから自己評価を実施する必要がある。利用者評価に貴重な意見が寄せられているため、そちらを参考にさせてもらいながら、更なる支援の充実を図っていきたい。